

あきた労福協

2024年1月1日

No.153

発行所／秋 田 県 労 働 福 祉 協 議 会
発行責任者 高橋 暢 嘉
秋田市中通6丁目7-36フォーラムアキタ内
TEL:018-833-1875・FAX:833-0506
ホームページ <http://akita.rofuku.net/>



謹賀新年

福祉はひとつを原点に
共助の輪を広げよう



秋田県労働福祉協議会
会長 才村 泰彦

新年おめでとうございます。

皆様におかれましては良き新年をお迎えのことと存じます。

昨年をふり返りますと、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢の悪化など「戦争」によって世界は混迷を続けました。その影響で、資源や農産物の価格が高騰し、金融緩和政策による円安もあいまって「物価上昇」が続き、私たちの生活を直撃しました。

県内では、気候変動による自然災害が猛威を振るいました。秋田市と五城目町を中心とする「大雨災害」では、住宅浸水をはじめ甚大な被害が発生しました。そのように困難な課題に直面して見えてくるものがありました。

しわ寄せは「弱い立場」の方々に大きくなること、「自助」だけではどうも乗り切れないこと、社会のセーフティーネットとしての「公助」が極めて脆弱であること、等々です。

一方で、「こんな時だからこそ助け合おう」という「助け合い」「支え合い」の活動が大きな力を発揮しました。厳しい状況の中で、私たちは『共助』の力を再認識したのではないのでしょうか。

内外ともに先の見通せない状況が続きますが、労働者福祉運動と労働運動が一体となって『共助の輪』を広げ、『寛容な社会』の実現に向け、役割を果たしていかななくてはなりません。

秋田労福協は、これからも「福祉はひとつ」を合い言葉に、NPOなど市民団体の皆さんとも連携を強め「すべての働く人の幸せと豊かさ」をめざして活動を展開してまいります。

結びになりますが、皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念し、年頭の挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年あけまして

おめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の干支は「辰」。「龍」と表した方が現代的な気がします。辰年は、これまで大きな出来事がありました。昭和三十九年の東京オリンピック開催、昭和六十三年は青函トンネルが開通、東京スカイツリーが開業したのは平成二十二年。いま世界で起きている戦争がすべて治まり、平和な世の中になる。さらには龍のごとく舞い上がる様な景気回復の年になる事を願うばかりです。

合い言葉である「福祉はひとつ」を基本に、地域に根差した労福協として、関連組織と結集しながら活動を展開してまいります。変わらぬご支援、ご協力を宜しくお願ひ致します。(事務局長)





迎春

労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を一変させ、格差や貧困、社会の分断が深刻化し、日本社会の脆弱性が浮き彫りになりました。社会経済活動の回復は進みつつありますが、単にコロナ前の状態に戻すのではなくより良い社会とすべく、公的セーフティネットの強化を求めていく必要があります。

物価高の影響は生活者を直撃し、子ども食堂など地域に寄り添った支援がますます必要とされます。労働者福祉運動と共助の輪の拡大に向け、労働団体・事業団体・地方労福協が、それぞれの立場で取り組むことが求められます。中央労福協はその結節点の役割を果たし、社会的連帯経済（SSE）の担い手として、NPOや市民団体、社会的企業とのつながりを深めていきます。

すべての働く人の幸せと豊かさをめざした、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向け、これまで以上に皆さまのお力をお寄せいただくことをお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



恭賀新年

東北労働金庫秋田県本部
本部長 黒崎 保樹

新年明けましておめでとうございます。

構成組織の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は東北労働金庫20周年事業に係わる各種キャンペーンの取組みに対し、格別なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

我々を取り巻く環境は「物価高騰」「少子高齢化・人口減少・老後資金問題」等により大きく変化しようとしています。

東北労金では、これらの環境の変化に対応した「生活応援運動」を推進するとともに、「誰一人取り残さない金融包摂」の実現をめざしております。労金はこれらの取組を通じ、日本で唯一の福祉金融機関として、これからも働く皆様の生活の支えとなるよう事業推進に取り組んでまいります。

本年が労福協に結集する皆様にとりまして実り多い年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



1つから大きな支援へ！誰でもすぐに始められる支援活動



第11回フードドライブキャンペーンを2023年10月10日(火)～20日(金)の期間で開催した。物価高等によりフードバンク事業も苦慮している中で、今回も**402点 364kg**もの食料品が集まりました。

した。

年末の食糧庫の整理・年末年始で買いすぎた物・頂き物で使用しない食品等、随時受付ています。集まった食品は、秋田労福協より「フードバンクあきた」「たすけあいネットあゆむ」へ寄贈いたします。





謹賀新春

こくみん共済 coop
秋田推進本部
本部長 羽澤 斉志

「新しいたすけあい

(こくみん共済 coop スタイル)」

の創造・実践にむけて！！

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年の7月には豪雨災害が発生し、秋田市を中心に県内各地の組合員の皆さまのお家やお車に被害が発生しました。あらためて、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

こくみん共済 coop は、全国的に多発している自然災害への対応として、2024年4月に「住まいる共済」の制度改定を予定しており、これまで以上に様々なお住まいのリスクに備えることができるようになります。また、「火災共済」からスタートした私たちは、組合員の皆さまへの『お役立ち』として「もしもの保障点検」活動等を通じて、万一の時に無保障者を出さない運動に取り組んでまいります。

さて、2025年度までの4ヵ年計画となる「中期経営政策 2025 変革と創造」においては、これまでの『お役立ち発想』と『共創活動』に加え、デジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい (こくみん共済 coop スタイル)」を創造・実践していくことで、こくみん共済 coop の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現をめざしています。そのひとつの取り組みとして、昨年5月には「こくみん共済 coop 公式アプリ」をスタートしました。今後もデジタル技術を活用したサービスや手続き等を拡大し、組合員の皆さまの利便性やサービス向上につなげてまいります。

経済の混乱、少子高齢化、人口減少など厳しい環境下ではありますが、前述の取り組みを通じて組合員、協力団体、共創パートナー団体との関係をさらに深めていくために役職員一丸となって取り組んでまいります。

むすびに、こくみん共済 coop の諸活動に対するご支援やご協力をお願いするとともに、皆さまの益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



新春来福

一般財団法人
秋田県労働会館
専務理事 渡邊 幸則

新年あけましておめでとうございます。

労福協の各構成組織の皆様におかれましては、おすこやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、公益目的事業「ライフサポートセンターあきた」の活動に対しますご理解とご支援に感謝申し上げます。そして、秋田県労働会館「フォーラムアキタ」をご利用いただき誠にありがとうございます。

今夏はこれまでの想定を超える豪雨災害がありました。被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧を願っております。ライフサポートセンターあきたは「暮らしなんでも相談」を通じて生活者からの相談を受け、解決、あるいは解決に向けた道へ進めるよう秋田労福協とともに、特定社会保険労務士のアドバイザーを中心として取り組んでまいりました。相談件数も増加しております。相談対応、周知等、引き続き充実した取り組みを実施してまいります。

秋田県労働会館は、職員一同、より一層努力してまいります。多くの皆様、団体様のご利用をお願いいたします。

皆様に実り多い年になりますことをご祈念いたしまして年頭のあいさつといたします。

秋田県を襲った秋田大雨災害

9月28日(木)秋田市八橋にある秋田市社会福祉協議会へ、北部労福協より「汗拭きタオル1千本」と東京労福協・秋田労福協合わせて「20万円」の支援金を寄付した。

秋田市社会福祉協議会は、7月以降頻発していた大雨の影響で被災した住宅などへ災害ボランティア派遣の運営をされていた。



【目録を渡し感謝状を受取る才村会長(左)】



地区労働福祉協議会



大館鹿角地区労働福祉協議会 会長 山内 一滋

あけましておめでとうございます。

まずは、昨年の豪雨災害で被災され、今もなお苦しい生活を余儀なくされている被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。この災害で私たちは、いざという時の備えや大規模災害を乗り越える地域コミュニティの再生、平時の福祉と災害時の危機管理の連結など、共助の力の重要性を改めて認識しました。「今こそ労福協の出番」と言えます。これからも不条理を許さず、「貧困や社会的排除がなく、人と人との関係性が大切にされ、平和で安心して働き、暮らせる持続可能な社会」の実現にむけて中央・県・各地区労福協に結集するとともに、「確かな繋がり」へのアプローチとして、従来の枠組みや価値観だけで物事を捉えるのではなく、新しいコンセプトを築き、ステップアップしたいと考えています。ともに頑張りましょう。

男鹿潟上南秋地区労働福祉協議会 会長 太田 修

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナウイルスが5類に移行し、日常生活を取り戻しつつありましたが、食料品、電気、ガス、燃料の値上げが生活を圧迫し、節約せざるを得ない1年でした。

賃上げの気運が高まる中でも、物価上昇を上回る賃上げは難しいのが実態です。

労福協は、皆さんに寄り添い、サービスやサポートをして参りますので、活用して頂きより良い1年にしていきたいと思います。



【男鹿潟上南秋地区定期総会】

秋田地区労働福祉協議会 会長 水木 卓

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中、皆様からは、秋田地区労福協の活動にあたたかいご支援をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

さて、今私たちの国は、超少子高齢化と人口減少という国家の存亡にかかわる問題を抱え、目前には団塊の世代が後期高齢者に移行し急速に社会保障費が膨らみ始める2025年問題が迫っています。こうした深刻な課題を克服していくためには、政局ばかりに左右される場当たりのこれまでの政治から脱却し、国民の暮らしに向き合う国づくりへの転換が求められています。今こそ私たちは根本的な国の運営方針がどうあるべきか改めて真剣に考えなければならないのではないのでしょうか。

労働福祉の運動は、基本理念である助け合いの精神のもと、働く者や生活者の目線で様々な社会問題の解決に向け取り組むものと思います。地区労福協の活動を通じ、地域で暮らす全ての皆さんが様々な立場を越えてお互いを思いやり、助け合う絆を大きく広げていけるよう、共に頑張りましょう。



【秋田地区労福協定期総会】



【秋田地区・男鹿地区合同開催『スポーツ交流会』】

能代山本地区労働福祉協議会 会長 牧野 友和

新年明けましておめでとうございます。

旧年は未曾有の大雨が発生し、被災された方へお見舞い申し上げます。

新型コロナが第五類に変わり半年以上が過ぎました。今年は労福協をはじめ様々な組織がコロナ前と同様の活動を行うものと思います。

我々、能代山本地区労福協も働く皆様がより安心して働き、より良い生活を得る為に学習会の機会を増やしたいと思っております。

本年も皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



【メーデーパレード】



【能代山本地区定期総会】



大曲仙北地区労働福祉協議会 会長 鈴木 幹

新年明けましておめでとうございます！

今年は、新型コロナウイルスによる影響を縮小し、例年通りの労福協の活動を実行発展させてまいりたいと思っております。

年々、新型コロナウイルスの影響は落ち着いて来ていますが、まだ過小評価することはできません。この間もインフルエンザの大流行といった、対応が難しい日々も続いています。この厳しい中であっても、大曲仙北地区労働福祉協議会の活動につきましても、組合員の皆様からのご支援だけが頼りであり、このご支援により、活動を活性化することができ、誠に有難うございます。今後は、厳しい環境の中であっても、労福協の発展をしてみたいと考えます。

今後の労福協の活動としましては、東北労働金庫やこくみん共済 coop と連携して、働く皆様方の生活防衛の一助になりますことを目標にするとともに、組合員の皆様方の健康と、今後の益々の発展を祈念して新年のあいさつに代えさせていただきます。

本荘由利地区労働福祉協議会 会長 佐藤 武彦

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は本荘由利地区労働福祉協議会の活動にたいしまして、ご支援ご協力頂きました事、心より感謝申し上げます。

昨年7月に秋田市内を中心に起きました豪雨災害に対し本荘由利地区労福協としては災害ボランティア派遣を主に協力してまいりました。しかしながら半年以上経過した現在でも多くの方々の生活が復旧されていない現状です。引き続き支援協力を継続してまいります。

長らく続く物価高が私たちの生活に多大な影響を及ぼし貧困の格差拡大が懸念されます。このような状況を少しでも改善いたしますよう本荘由利地区労福協基本理念である助け合いの精神のもと本年も労働者福祉の向上に努めてまいります。引き続き皆様からご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。

横手平鹿地区労働福祉協議会 会長 齊藤 斉

明けましておめでとうございます。

さて、世界情勢は混迷の度合いを深め、日本経済は低迷し政治は迷走を続けています。秋田県においては、エネルギー価格の高騰を主因とする物価高により、低所得者・生活困窮者は命の危機にさらされています。こうした状況により、将来不安が助長され、少子高齢化や人口減少に更に拍車が掛かることが懸念されます。

横手平鹿地区労働福祉協議会は、勤労者の課題解決や将来不安の払拭に向けて、この状況に正面から向き合い、労働金庫・こくみん共済 coop との連携を強化し、『助け合い・支え合い』の取り組みを推進してまいります。

湯沢雄勝地区労働福祉協議会 会長 門田 実

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、行き過ぎた物価高騰の反面、実質賃金は18ヶ月連続で下落する等、私たちを取り巻く環境が悪化を続け将来不安が拡大する中、『助け合い』の考え方や仕組みを通して、労福協・労働金庫・こくみん共済 coop の連携は大変重要と考えております。

湯沢雄勝地区労働福祉協議会は、私たち勤労者の生活に大きく影響する労働者自主福祉運動のさらなる充実をめざし、取り組みを進めてまいります。

2023 年度秋田労福協研究集会 (北部労福協第 47 回研究集会)

【基調講演】 共生社会の実現を目指して
～ 福祉のまなざしを取り入れる ～

【特別講演】 防災サバイバルのすすめ

10月18日(水)フォーラムアキタにて、72名が参加し開催した。
基調講演では国際教養大学准教授 堀井里子氏よりジェンダー平等への取り組みや今後の課題・福祉の役割など講演された。

特別講演では探検家 高橋大輔氏より、活動内容と実際の体験談を



交え、その場にある物を活用する方法、災害時でも利用できるゴミ袋や新聞で体を覆い暖を取る方法などの講演を頂いた。



国際教養大学准教授
堀井里子氏



探検家
高橋大輔氏

第5回ライフプランセミナー

知っておきたい今どきの『働き方改革』

12月9日(土)横手セントラルホテルにおいて64名が参加し、第5回労福協ライフプランセミナーを開催した。「知っておきたい今どきの『働き方改革』と今後の課題」と題し、育児・介護休業法、パート・有期労働法ならびに同一賃金同一労働、パワハラ防止法、年金制度の概要と被用者保険の適用拡大など、特定社会保険労務士の資格を持ち「ライフサポートセンターあきた」のアドバイザーでもある大泉三三男氏より講演をいただいた。

参加者からは、「自分の年金について不安でしたが、年金の仕組みについて知れて良かった」「アンガーマネジメントについてもっと学びたいと感じました」「パワハラは身近におこりえる問題であるため関心がある」との声が寄せられた。



講師 大泉三三男氏



アンケート結果 (複数回答可)

講演内容で特に関心のあった項目は⑥年金制度の概要でした。次いで、③パワハラ防止のポイント

⑦高齢厚生年金でした。

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| ① 育児介護休業法 (15 件) | ② 同一労働・同一賃金 (11 件) |
| ③ パワハラ防止措置のポイント (21 件) | ④ 改正労働基準法 (13 件) |
| ⑤ 女性活躍推進特に関心のあった項目 (3 件) | ⑥ 年金制度の概要 (26 件) |
| ⑦ 高齢厚生年金 (21 件) | ⑧ 短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大 (13 件) |
| ⑨ 改正高齢者雇用安定法 (10 件) | ⑩ 皆さんに考えてほしいこと (5 件) |

チャリティ金贈呈式

12月15日(金)フォーラムアキタにて各福祉団体・フードバンク団体へ寄付金を贈呈するチャリティ金贈呈式を行った。

9月に行われたチャリティゴルフ大会で集まった協賛広告代・カンパ金に加え、秋田地区・男鹿地区合同スポーツ交流会(2回開催)の参加者よりカンパ金を頂き、11団体への寄付と、活動を再開した連合秋田復興の森「植樹祭」への支援として助成金を寄贈する予定である。

各団体代表者は寄付金を受け取り「今年の豪雨災害で利用者・職員共に家に帰れない人もいた。そのため防災グッズ等の購入に使用したい」とお礼の言葉が述べられた。



カンパ金合計

228,444円

- ・チャリティゴルフ当日 104,744円
- ・秋田地区・男鹿地区合同スポーツ交流会(5/27開催) 72,200円
- ・秋田地区・男鹿地区合同スポーツ交流会(9/30開催) 51,500円

協賛広告代

1,110,000円

協賛・カンパのご協力
ありがとうございました



【寄付金贈呈先】

- ・秋田災害遺児愛護基金事業
- ・秋田いなほ福祉会 山手台いなほ
- ・自立支援センターほのぼの
- ・フードバンクあきた
- ・あしなが育英会
- ・くだけ寮
- ・子育て応援Seed
- ・秋田たすけあいネットあゆむ
- ・秋田県身体障害者スキー協会
- ・やすらぎの家
- ・ライフサポートセンターあきた

ライフサポートセンターあきた

日常生活での困り事ひとりで悩まずお電話ください!

相談アドバイザー『大泉』が解決策を一緒に考えます。

《暮らしなんでも相談》

📞 0120-980-669

お知らせ

◎「2024年度労働者福祉に関する政策制度要請」提示予定!

日時 2024年1月19日(金) 15:00 場所「県庁第二庁舎」

◎税務署確定申告の相談及び申告受付

期間 2024年2月16日(金)~3月15日(金)予定

会場 秋田県労働会館「フォーラムアキタ」 ☎ 018-833-2335 (市民市場近く)



スレイクタイム 頭の体操

春になるとすぐ無くなるデザートは「ティラミス・プリン・シュークリーム」3つのうちどれでしょうか。(答えは8ページ)



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

年が明けると、今年こそ〇〇するぞ!と目標を立てる方も多いのではないのでしょうか。

今年は辰年、竜の様に力強く目標の達成を目指しましょう!(G. N)



謹んで新春のお慶びを申し上げます

社会・経済情勢が大きく変化する中で組合員の働き方やライフスタイルの多様化が進んでいます。こうした時代だからこそ、ろうきんは労働組合との連帯をさらに強固にし最も身近で信頼される金融機関として組合員のみなさまに寄り添い生涯にわたり力強くサポートしてまいります。



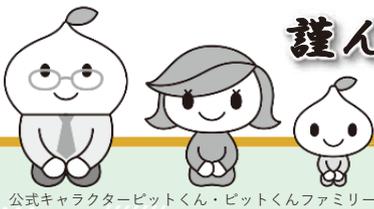
東北労働金庫秋田県本部
 〒010-0951
 秋田市山王4-4-13 ☎ 018(866)1315
<https://www.tohoku-rokin.or.jp>



0523X003

こくみん共済coop NEWS

謹んで新春のお慶びを申し上げます



公式キャラクタービットくん・ビットくんファミリー



公式アプリ新登場

便利でお役立ちの機能がいっぱい!

こくみん共済coopのお役立ちアプリ

契約内容が一目で分かる!

住所や口座の変更ができる!

受付 共済金の請求手続きができる!

大事なお知らせをメールでお届け

満期案内のお知らせ
年末調整のお知らせ

組合員になられた方は、さらに安心のサポートや嬉しい特典もいっぱい!

安心の保障と生活応援であなただけの暮らしを支える

こくみんLifeサポート

安心の保障! 保障設計サポート

簡単な質問に答えていただくだけで、ぴったりな保障の組み合わせをご案内!

さらに 週に1度のスペシャル特典「すご得!」

毎週水曜日18時に
お得なサービスが更新されます!

サブライク価格が
さらにお得!

生活応援! 生活設計サポート

組合員特典価格等でもしもの事前・事後や生活全般をサポート

約18万種類のサービス!

- オリジナルメニュー
- 事前の備え
- 住診
- ドライブレコーダー取付
- 事後のフォロー
- ライブイベントのサポート
- 介護相談
- 結婚祝い制度

こくみん共済 秋田推進本部
 全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop** (秋田県労働者共済生活協同組合)

〒010-0817 秋田市泉菅野1-1-12
018-824-6031

秋田県の共済ショップの
 うれしい情報は、
 HPをご確認ください!



「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

頭の体操答え フリン「春は英語でスプリング→すぐ(すとく)無くなるとフリンになる」